

中国語の限定選択構文の典型的用法と表現機能

長谷川 賢*

1. はじめに

中国語の選択複文の中には、(1) (2) のように、“要么 A 要么 B” や “不是 A 就是 B” などの形式で、“非此即彼” (これかあれかどちらかだ)、即ち「A か B のどちらかだ」を表す構文があり、邢福义 2001:242-265 は“限定句式” (限定選択構文) と称している¹⁾。

(1) 他肯定会提升：要么当主任，要么当处长。(邢福义 2001:258)

(2) 他肯定会提升：不是当主任，就是当处长。(邢福义 2001:258)

(彼はきっと昇進する。主任になるか処長になるかのどちらかだ。)

これらの形式に加えて、“要不 A 要不 B” も、次の (3) のように、「A か B のどちらかだ」を表し、限定選択構文に含まれると考えられる²⁾。

(3) 今天的会得去一个人，要不你去，要不我去。(『现代汉语词典』第7版:1525)

(今日の会合は一人出なければならない。あなたが行くか、私が行くかだ。)

これらの構文は、「A か B のどちらかだ」を表すという点では類義の構文であり、例えば、次の (4) では、“不是 A 就是 B” と “要么 A 要么 B” が一つの文の中で同じ意味として連続で用いられている。

(4) 每天晚上不是去品尝生猛海鲜，就是去享受法式大餐，要么吃辣得哇哇叫的重庆毛肚火锅，要么吃淡得毫无意趣却昂贵得惊人的

* はせがわ・けん 立命館大学経済学部准教授

日本料理，还有韩国烧烤，印度抓饭，爪哇鸡杂，葡国乳猪……
焦素娥的珠宝手饰一度达到过超百的数目，……（CCL）

（每晚、生のよい海鮮を味わうか、フレンチを楽しむか、辛い辛いと声が出る重慶毛肚火鍋を食べるか、味が薄くて少しも味わいがないが値段が高くて驚く日本料理を食べるか。）

しかしながら、これらの構文は、互いに自由に置き換えられるというわけではない。例えば、次の（5）の“不是 A 就是 B”の例を（5）'のように“要不 A 要不 B”に置き換えると不自然になる。

（5）大卫有时从菜场一头走到另一头，竹篮仍空着，不是菜太贵，就是菜太糟，或是一些菜他不认识。（CCL）

（大衛は時々野菜市場の端から端まで歩いても、竹かごが空のまままだ。野菜が高すぎるか、ひどすぎるか、或いはいくつかの野菜を彼は知らないかである。）

（5）* 大卫有时从菜场一头走到另一头，竹篮仍空着，要不菜太贵，要不菜太糟，或是一些菜他不认识。

このように、これらの構文は類義ではあるが、それぞれが表すことができる事態は異なるようである。邢福义 2001:242-265 では、これらの構文が“析实性选择”（事実分析的選択）を表すか、或いは“意欲性选择”（意欲的選択）を表すかという点で相違があることを論じている。この指摘は各限定選択構文が表す事態の特徴を論じた唯一の指摘で、特筆すべきものであるが、その二つの「選択」が具体的にどのような事態の「選択」を指すのか説明が不明確な部分がある。本稿では、まず邢福义 2001:242-265 やコーパスの用例に基づきながら、各限定選択構文が表す事態の特徴をより具体的に示した上で、各構文の典型的用法を明らかにする³⁾。更に、各構文の選択項の意味的な関係などに着目して、各構文の表現機能の特性について考察する。

2. 限定選択構文の構造

各限定選択構文が表す事態の特徴を示す前に、まず各構文の選択項の構造的な特徴についてまとめる。“要么 A 要么 B”と“不是 A 就是 B”については、邢福义 2001 などに示されているが、“要不 A 要不 B”については先行研究が見られないので、実例などに基づいて示す。

まず、“不是 A 就是 B”の選択項には、主述句、動詞句などの述詞性構造のほか、更に名詞句を置くことができる。

(6) 不是你去，就是我去。（吕叔湘主编 1999:91）

（あなたが行くか、私が行くかのどちらかだ。）

(7) 我不是当编辑，就是当记者。（邢福义 2001:259）

（私は編集者になるか、記者になるかのどちらかだ。）

(8) 他不是编辑，就是记者。（邢福义 2001:259）

（彼は編集者であるか、記者であるかのどちらかだ。）

(6) (7) は選択項にそれぞれ、主述句、動詞句が置かれている例、(8) は名詞句が置かれている例である。

一方、“要么 A 要么 B”の選択項には、一般には次の (9) (10) のように、主述句や動詞句などの述詞性構造が置かれ、(11) のように、名詞句を置くことはできないとされる。

(9) 要么你去，要么他来，否则你们没法面谈。（吕叔湘主编 1999:594）

（あなたが行くか、彼が来るかしなければ、あなたたちは直接会って話をする事ができない。）

(10) 我要么当编辑，要么当记者。（邢福义 2001:260）

（私は編集者になるか、記者になるかのどちらかだ。）

(11) *他要么编辑，要么记者。（邢福义 2001:260）

邢福义 2001:260 によれば、“要么 A 要么 B”の選択項に名詞句を置く場合は、次のように“要么是 A 要么是 B”という形式にして、判断動詞“是”

を加えなければならないということである。

(12) 他要么是编辑, 要么是记者。(邢福义 2001:260)

(彼は編集者であるか、記者であるかのどちらかだ。)

このように、“要么 A 要么 B”の選択項は、何らかの述詞を含むものでなければならないとされる。ただし、コーパスでは、“要么 A 要么 B”の選択項に、次の (13) のように、まれに名詞句が用いられる例が見られる。

(13) 夏先生说：“别嘴硬，你还是劝拉拉，要么张东昱，要么程辉，

赶紧二者择其一吧，过这村就没那店了，这两人都不错的。(CCL)

(あなたは拉拉にすすめてください。張東昱か程輝か、二人から一人を急いで選ぶように。)

(13) は選択項に“张东昱”、“程辉”という人名、即ち名詞句が用いられている。しかしながら、大多数の用例では次のような動詞句をはじめとする述詞性成分が置かれている。

(14) 特别是夏天雨水多的时候，水漫过了石头，上学的小孩便只好要么由家长背过去要么就呆在家中不上学。(BCC)

(特に夏の雨が多い時は、水が岩を超えてあふれ、通学の子どもは親が背負って行くか、家に留まって学校に行かないことにならざるを得ない。)

次に、“要不 A 要不 B”の例を観察すると、その選択項は、一般には次のように述詞性成分で構成されている。

(15) 我气哼哼地说：“甭骗我，要不咱们和好，要不离婚。”(BCC)

(私を騙さないで。私たちは仲直りするか、離婚するかのどちらかよ。)

仮に、選択項が名詞句で構成されている“不是 A 就是 B”の前掲 (8) の例を“要不 A 要不 B”に置き換えると不自然になる。文を自然にするためには、“要不”の後に“就是”を加えなければならない⁴⁾。

(16a) * 他要不编辑, 要不记者。

(16b) 他要不就是编辑，要不就是记者。

以上のように、限定選択構文の中で、“不是 A 就是 B”の選択項には述詞性成分のほかに、名詞性成分なども置くことができる。一方、“要么 A 要么 B”と“要不 A 要不 B”の選択項には一般に述詞性成分が置かれ、名詞性成分を置くことはできない。ただし、“要么是 A 要么是 B”、“要不就是 A 要不就是 B”など判断動詞“是”を含む形式に替えれば名詞性成分を置くことができる。“不是 A 就是 B”の選択項に直接名詞性成分を置くことができるのは、構造自体に“是”が含まれているからであると考えられる。

限定選択構文の選択項のこのような構造上の相違は、それぞれが表し得る事態の相違と関係する。次節では、限定選択構文が表す事態の特徴を示す。

3. 限定選択構文が表す事態のタイプと典型的用法

3.1. 邢福义 2001 の指摘

本節では、それぞれの限定選択構文が表す事態のタイプについて論じる。各構文が表す事態の相違について論じた先行研究は、管見の限り邢福义 2001 のみである。邢福义 2001:258-263 では、三つの構文は、表すことができる「選択」には次のような相違があると論じている。

(17a) 要么你留下，要么你赶快走。

(17b) 要不你留下，要不你赶快走。

(17c) *不是你留下，就是你赶快走。（邢福义 2001:262）

（あなたは残るか、急いで出るかのどちらかだ。）

(18a) 这一向他要么满不在乎，要么斤斤计较。

(18b) *这一向他要不满不在乎，要不斤斤计较。

(18c) 这一他不是满不在乎，不是斤斤计较。（邢福义 2001:262）

(近頃、彼は何も気にかけないか、細かいことにいちいちこだわるかのどちらかである。)

邢福義 2001:258-263 によると、(17a) (17b) は“意欲性选择”(意欲的選択)の例で、選択項で述べられている行為が“跟人的意向欲望有关”(人の意向、欲望と関係)し、主観的色彩が濃い選択であるということである。この種の選択は、“要么 A 要么 B”と“要不 A 要不 B”によって表され、(17c)のように、“不是 A 就是 B”では一般に表されないとする。一方、(18a) (18c) は“析实性选择”(事実分析的選択)で、選択項で述べられている状況が“对事实的描述或反映”(事実に対する描写や反映)を表し、客観性が比較的高いということである。この種の選択は、“要么 A 要么 B”と“不是 A 就是 B”によって表され、(18b)のように、“要不 A 要不 B”では一般に表されないとしている。

この指摘は、三つの限定選択構文が表す事態の相違を示した特筆すべき指摘である。ただし、“意欲性选择”の“跟人的意向欲望有关”という選択が具体的にどのような事態を指すのか説明がやや不明確である。本節では、邢福義 2001:258-263 の“意欲性选择”や“析实性选择”が具体的にどのような事態の「選択」を指すのかをコーパスの実例などに基づきながら示し、各限定選択構文が表す事態のタイプの特徴をより具体的に示す。

3.2. 採るべき動作行為の選択肢を提示するタイプ

邢福義 2001:258-263 では、“意欲性选择”とは、選択項で述べられている行為が人の意向、欲望と関係する選択であると述べているが、具体的には、邢福義 2001:262 が挙げた前掲 (17a) (17b) がそうであるように、「これから採るべき動作行為が二つの選択項のうちのいずれかであることを提示する」というタイプの選択であることを示唆していると考えられる。このタイプの選択は、邢福義 2001:258-263 で示されているように、“要不

A 要不 B”と“要么 A 要么 B”によって表される。

(19) 拉拉说：“给你两个选择，要么我现在告诉你答案，要么你今晚回去想一想。” 张凯挺挺胸说：“我今晚回去想。”（CCL）

（あなたに二つの選択肢を与えよう。私が今あなたに答えを教えるか、あなたは今晚帰って考えるかだ。）

(20) 我是第一次写书，……，我已经很尽力，有问题也在尽量改进，请不要随随便便的就对别人的辛苦罔加评论，要不你自己写一本比我好的，要不你就闭嘴，谢谢（BCC）

（自分で私よりよいものを書くか、そうでなければ黙って下さい。）

(19) は当該構造の前に“给你两个选择”（あなたに二つの選択肢を与えよう）とあるように、“拉拉”という人物が“张凯”という人物に対してこれから採るべき動作行為の選択肢を提示していることを表している。一方、(20) は文の作者が読み手に対して、採るべき動作行為の選択肢を提示している文である。仮に、(19) (20) を“不是 A 就是 B”に置き換えると不自然になる。

(19)' * 拉拉说：“给你两个选择，不是我现在告诉你答案，就是你今晚回去想一想。” …

(20)' * 不是你自己写一本比我好的，就是你就闭嘴，…

このように、邢福义 2001:258-263 の“意欲性选择”とは、これから採るべき動作行為の選択肢を提示するというタイプの選択であり、このタイプは、“要不 A 要不 B”と“要么 A 要么 B”によって表され、“不是 A 就是 B”では表すことができない。

3.3. 起こり得る動作行為や状態を表すタイプ

次に、邢福义 2001:258-263 では“析实性选择”とは、選択項で述べられる状況が事実に対する描写や反映を表す選択であるとしているが、こ

これは「起こり得る動作行為や状態が二つの選択項のうちのいずれかであることを表す」というタイプの選択であることを示唆していると考えられる。特に選択項が状況を表すとしている点が、“意欲性选择”との大きな相違点であると考えられる。このタイプには、具体的には、以下のいくつかの事態が含まれると考えられる。

まず挙げられるのは、これから起こる、或いはすでに起こった一回的な事態が、二つの選択項のうちいずれかであることの推定を表す文である。

(21a) 他肯定会提升：要么当主任，要么当处长。

(21b) 他肯定会提升：不是当主任，就是当处长。（邢福义 2001:258）

（彼はきっと昇進するだろう。主任になるか処長になるかのどちらかだ。）

(22) “洪亮，集总还没有和 32 军联系上吗？”“还没有，估计不是 32 军的通讯设备全部被毁就是他们军部可能遇袭出了什么事。（BCC）
（32 軍の通信設備は全て壊されたか、彼らの軍部が襲撃され何かあったかであろう。）”

(21a) (21b) は「彼は昇進するだろう」という未然の一回的事態について、起こり得る事態が「主任になる」か「処長になる」かのいずれかであるという語り手の推定を表している。(22) は已然の一回的事態について、起こった事態が二つの選択項のうちいずれかであるという推定を表している。このタイプの事態は、“要不 A 要不 B”では表現し難い。仮に (21) (22) を“要不 A 要不 B”に置き換えると不自然となる。

(21)' * 他肯定会提升：要不当主任，要不当处长。

(22)' * “洪亮，集总还没有和 32 军联系上吗？”“还没有，估计要不 32 军的通讯设备全部被毁要不他们军部可能遇袭出了什么事。”

この種の事態は、3.2 節で述べた採るべき動作行為の選択肢を提示するタイプと、一回的な事態を表すという点は共通するが、採るべき動作の

選択肢の提示ではなく、起こり得る事態の推定を表すという点に相違がある。

次に“析実性选择”に含まれる文として挙げられるのは、二つの選択項がある種の原理原則や恒常的な動作を表す文である。

(23) 平面上的两条直线，要么相交，要么平行。(BCC)

(平面上の二つの直線は、交わるか並行するかのどちらかである。)

(24) 可是不幸儿子患了精神病。她想尽办法要把儿子的病治好，但是每次她端药端茶给她儿子喝的时候，她儿子不是不吃就是把碗打破，老大娘想不出其他办法，就把她的苦衷告诉大川同志。(BCC)

(しかし彼女が薬とお茶を運んできて息子に飲ませようとする度、息子は飲まないか、お碗を割るかで、……。)

(23) の選択項は、平面上の二つの直線が原理原則としてどのようになるのかが表されている。(24) の選択項は、精神病に罹っている息子が恒常的にどのような動作をするのかが表されている。なお、“要不 A 要不 B”についても、コーパスでは次のように、恒常的な動作を表す例が見られる。

(25) 工人们忍受着疲劳和困苦，……，工厂的规定实在太苛刻，……，稍有违反，要不被罚款，要不受污辱性的体罚。(CCL)

(工場の規定は実に過酷で、……少し違反があれば、罰金を取られるか、侮辱的な体罰を受ける。)

(25) の選択項には、工場労働者が規定に違反した場合、恒常的にどのような罰を受けているのかが表されている。しかしながら、このような文は、インフォーマントによっては不自然と判断し⁵⁾、更に、仮に前掲(23)(24)の原理原則や恒常的動作の例を“要不 A 要不 B”に置き換えると不自然になるなど、“要不 A 要不 B”はこの種の事態を表し難いと考えられる。ただし、邢福义 2001:262 で論じられているように、“要不就是 A 要不就是 B”の形に替えれば文が自然となる。

(23)' * 平面上的两条直线, 要不相交, 要不平行。

(24)' * 但是每次她端药端茶给她儿子喝的时候, 她儿子要不不吃要不把碗打破,

(23)" 平面上的两条直线, 要不就是相交, 要不就是平行。

(24)" 但是每次她端药端茶给她儿子喝的时候, 她儿子要不就是不吃要不就是把碗打破,

最後に挙げられるのは、次のような、二つの選択項が、ある主体の属性を表す文である。

(26) 但是, 目前城市公厕要么标志五花八门, 要么什么标志都没有。

(CCL)

(しかし、現在都市の公衆トイレは標識が多種多様であるか、何の標識もないかである。)

(27) 后来人口一天多一天, 荒地则一天减少一天, 而且新垦的地不是土质不好, 就是水源不足, 于是每人耕地的面积减少, 生活程度降低。(CCL)

(しかも新たに開墾した土地は土壤の質がよくないか、水源が足りないかで、…)

(26) の選択項「標識が多種多様」と「何の標識もない」は、いずれも都市の公衆トイレがどのような状態にあるかという公衆トイレの属性を表している。(27) の選択項「土壤の質がよくない」と「水源が足りない」は、新たに開墾した土地の属性を表している。このような属性についても、“要不 A 要不 B” では表し難く、仮に (26) (27) を“要不 A 要不 B” に置き換えると不自然になる。ただし、“要不就是 A 要不就是 B” の形に替えれば文が自然となる。

(26)' * 但是, 目前城市公厕要不标志五花八门, 要不什么标志都没有。

(27)' * 而且新垦的地要不土质不好, 要不水源不足,

(26)" 但是, 目前城市公厕要不就是标志五花八门, 要不就是什么标

志都没有。

(27) 而且新垦的地要不就是土质不好，要不就是水源不足，

なお、“不是 A 就是 B”については、2 節で述べたように、更に選択項に名詞性成分を置いて、属性を示すことができる。

(28) 靠巾帼女将的绝对实力，中国队的女单和女双队员不是世界冠军就是奥运会冠军，碰谁都不会有丢掉的可能。(BCC)

(中国チームの女子シングルスと女子ダブルスの選手は世界チャンピオンであるかオリンピックチャンピオンであり、……。)

(28) は選択項が名詞句で構成され、中国チームの選手の属性を表している。一方、2 節で示したように“要么 A 要么 B”と“要不 A 要不 B”は選択項に名詞性成分を置くことができず、名詞句を置くためには、“是”や“就是”を加えなければならない。

以上のように、邢福义 2001:258-263 の“析实性选择”の文には、起こり得る一回的動作の推定、起こり得る原理原則や恒常的動作、更にはある主体の属性を表す文が含まれると考えられる。この中で、原理原則や恒常的動作、属性はある主体の不変の性質、即ち「恒常的な状態」として捉えることができる。従って、“析实性选择”に含まれる文は、一回的動作の推定と恒常的な状態を表す文の大きく二つに分けられると考えられる。

3.4. 限定選択構文の典型的用法

以上、邢福义 2001:258-263 の“意欲性选择”と“析实性选择”が具体的にどのような事態の「選択」を表すのかを示しながら、各限定選択構文が表す事態のタイプを考察した。

まず、“要不 A 要不 B”は、一般に採るべき動作行為が二つの選択項のうちのいずれかであることを提示するというタイプの「選択」に用いられ、

それが当該構造の典型的用法であるといえる。

次に、“要么 A 要么 B”は、採るべき動作行為の選択肢を提示する文に用いられるほか、起こり得る一回的事態の推定や恒常的な状態を示すためにも用いられ、限定選択構文の中で最も幅広く用いられる構文である。今回考察したコーパスの用例 200 例の中で、採るべき動作行為の選択肢を提示する文は 57 例、起こり得る一回的事態の推定を表す文は 4 例、恒常的な状態を表す文は 139 例観察された。このように、コーパスでは、一回的事態の推定を表す文はまれで、多くの例は採るべき動作行為の提示か恒常的な状態を表す例となっている。また“要么 A 要么 B”は選択項に名詞句を置くことができず、属性を示すことについては制限がある。従って、“要么 A 要么 B”は、一回的事態の推定や、属性を含む恒常的な状態を示す用法よりも、邢福义 2001:258-263 の“意欲性选择”、即ち採るべき動作行為の選択肢を提示する用法が、その最も典型的な用法であると考えられる⁶⁾。

一方、“不是 A 就是 B”は採るべき動作行為の選択肢を示すためには用いられず、起こり得る一回的事態の推定、或いは恒常的動作や属性などの恒常的な状態を示すために用いられる。今回考察した 200 例の中で、起こり得る一回的事態を表す例は 4 例、恒常的な状態を表す文は 196 例観察され、大多数が恒常的動作や属性などある種の状態を表す文となっている。当該構文は判断動詞“是”を含む構文であり、恒常的動作や属性など恒常的な状態を示す用法が、その最も典型的な用法であると考えられる。

4. 限定選択構文の表現機能

4.1. “要不 A 要不 B”と“要么 A 要么 B”の表現機能

3 節では、各限定選択構文が表す事態のタイプを示し、それぞれの典型

の用法について考察した。本節では、各構文の選択項の意味的關係などに着目し、各構文の表現機能を考察する。

まず、“要不 A 要不 B”と“要么 A 要么 B”は、前節で論じたように、採るべき動作行為の選択肢を提示する用法が、典型的用法であると考えられる。両構文のそのタイプの文を観察すると、次のように、二つの選択項に、しばしば意味的に対立的な事態が置かれている。

(29) (= (15)) 我气哼哼地说：“甭骗我，要不咱们和好，要不离婚。”

(30) (= (19)) 拉拉说：“给你两个选择，要么我现在告诉你答案，要么你今晚回去想一想。” 张凯挺胸说：“我今晚回去想。”

(29) の二つの選択項「仲直りする」と「離婚する」は意味的に相反的で、互いに対立的な事態となっている。(30) の二つの選択項「私は今あなたに答えを教える」と「あなたは今晚帰って考える」は、話し手が聞き手に対して「今答えを教えるか否か」という点で対立的な事態を表していると解釈できる。今回、“要不 A 要不 B”について、対象コーパスから採るべき動作行為を示す例を 20 例検出し、その中で対立的な事態で構成される例は 17 例観察された。“要么 A 要么 B”については、コーパスから検出した採るべき動作行為を示す文 57 例の中で、選択項が対立的な事態を表す例は 52 例観察された。両構文ともに選択項が対立的な事態で構成される例が圧倒的多数を占めている。

このように、限定選択構文によって採るべき動作行為の選択肢が示される場合は、一般に選択項が対立的な事態の二者択一として、対称的 (symmetry) に示される。なお、選択項が対立的ではない例については、次のような例が見られる。

(31) “叶陶，我和家里商量过了，我爸爸妈妈都赞成我买那套房子，同事也说现在不该持有现金，要么抓紧买房要么就买股票。……。” (CCL)

(葉陶さん、私は家族ともう相談しました。私の父母は私があ

の家を買うのに賛成で、同僚も今は現金を持つべきではない、
急いで家を買うか、株を買うかだと言っています。）

(31) の二つの選択項「急いで家を買う」と「株を買う」は、「現金を持つ」代わりに行う動作という点で、対立的ではなく、言わば「同類」の事態を表していると解釈できる。

4.2. “不是 A 就是 B” の表現機能

次に、“不是 A 就是 B” の表現機能について考察する。3 節で論じたように、“不是 A 就是 B” は、典型的には恒常的動作や属性などの恒常的な状態を表すために用いられる。前節で述べた“要么 A 要么 B” などの採るべき動作行為を表す文では、二つの選択項に、一般に対立的事態が置かれるが、“不是 A 就是 B” の恒常的な状態を表す文の選択項には、次のように、しばしば対立的ではなく、同類の事態が置かれる。

(32) 按说，庆祝活动应在她即位的 2 月 6 日举行，但两个因素把喜庆的日子推迟到 6 月初。一是英国 2 月的天气不好，不是下雨就是刮风，不便百姓举行室外庆祝活动；……（BCC）

（一つは、英国の 2 月の天気は良くなく、雨が降るか風が吹くかで、人々が屋外でお祝いをするのに向かないことである。）

(33) 即使在农村生活的孩子，生活空间和生活方式也远没有以前的孩子那样丰富多彩。孩子放学回家，不是做作业就是看电视，接触自然的机会极少。（BCC）

（子どもが授業が終わって家に帰ると、宿題をするかテレビを見るかで、自然に触れる機会が極めて少ない。）

(32) の二つの選択項「雨が降る」と「風が吹く」は、英国の悪い天気を表すという点で、同類の事態であると解釈できる。(33) の二つの選択項「宿題をする」と「テレビを見る」は、自然に触れないで行う動作という点で、同類の事態であると解釈できる⁷⁾。このように、“不是 A 就

是 B”には、しばしば、二つの選択項に同類の事態が置かれ、例えば (32) では二つの選択項全体で「英国の天気が悪い状態」、(33) では二つの選択項全体で「自然に触れる機会が少ない状態」というように、構造全体である一まとまりの状態が表される。

次の文では、二つの選択項に、特定の (specific) ではない事態が置かれ、二つの選択項全体である一まとまりの状態が表されている。

(34) 春节过后,务工人员从全国各地纷至沓来,在求职和办证的过程中,
一些人往往把好多证件放在一块,一掏一大把,不是丢这就是丢那,从二月份至今,他们仅在劳动力市场大厦一楼就拣到身份证
41 张,……。 (BCC)

(求职や書類手続きの過程で、一部の者はしばしば多くの証明書類を一緒にたにして入れ、一掴みに取り出し、あれこれなくし、……。)

(35) 10 个孩子全部吃饱后,7 点时她送老大、老二到西门小学去上学。
8 点她上街去买一些便宜的蔬菜。……家里还剩 8 个小孩子,整日里不是你哭就是他叫。(BCC)

(家にはまだ子どもが 8 人いて、一日中泣きわめいている。)

(34) の選択項の“这”と“那”は、特定の事物を指さず、二つの選択項全体で、労働者たちが証明書類を「あれこれなくす」という一まとまりの状態を表している。(35) の選択項の“你”と“他”も、特定の人物を指さず、二つの選択項全体で、子どもたちが「泣きわめいている」という一まとまりの状態を表している。

なお、次の (36) の二つの選択項“你死”と“我活”は語彙的には対立的であるが、“你”と“我”が、特定の人物を指さず、二つの選択項全体で「一方が死に一方が生きる」、即ち「生きるか死ぬか」というやはり一まとまりの状態を表している。

(36) 表弟在电话中问：“郭涛，你让俺哥去您家是干啥哩？”“干啥？”

不是你死就是我活。”郭涛回答说。胡胜利的表弟意识到事态的严重性，立即同另一位年轻人一起骑车去追胡胜利。（BCC）
（「郭涛、俺の兄をあなたの家に行かせて何をするんだ？」「何を
するか？生きるか死ぬかだ。」）

更に、次の例では、選択項の前項でまず全体の状態を代表する事態が示され、後項ではその前項の事態を含意し、その上で更に起こり得る事態が表されている。

(37) (= (24)) 可是不幸儿子患了精神病。她想尽办法要把儿子的病治好，但是每次她端药端茶给她儿子喝的时候，她儿子不是不吃就是把碗打破，老大娘想不出其他办法，就把她的苦衷告诉大川同志。

(37) は、母親が病気の息子に薬を飲ませる際の息子の恒常的な動作の描写で、選択項の前項「(薬を) 飲まない」が全体の状態を代表し、後項「お碗を割る」は、前項の「(薬を) 飲まない」という事態を含意し、その上で更に起こり得る事態を表している。

なお、この例では、前項が後項よりも全体を代表する典型的な事態を表すため、(37)'のように、選択項を逆にして示すことができない。

(37)' * 她儿子不是把碗打破就是不吃

従って、(37) の二つの選択項は意味的に非対称的 (asymmetry) であるといえる⁸⁾。寺村 1992:349-359 は、日本語の選択を示すいくつかの接続詞について、構造的、意味的な対称性の要求の度合いに差が見られることを論じている。中国語の限定選択構文では、“要不 A 要不 B”と“要么 A 要么 B”は、典型的な採るべき動作行為の選択肢を提示する例においては、選択項が前掲 (29) (30) のように、しばしば対立的事態の二者択一として、対称的に示されるが、“不是 A 就是 B”では、恒常的な状態を表す文において、(37) のような非対称的な例も見られる。

いずれにしても、“不是 A 就是 B”は、選択項にしばしば同類の事態が

置かれ、構造全体である一まとまりの状態を表す。なお、“要么 A 要么 B”にも恒常的な状態を表す文があるが、次のように、“不是 A 就是 B”と同様にある一まとまりの状態を表すと解釈できる。

- (38) 人们发现博物馆中的上千件文物要么消失不见要么已被毁坏。
(BCC)

(人々は博物館の多くの文物が無くなっているかすでに壊されていることが分かった。)

(38) の当該構造は全体で「文物が被害を受けている状態」という一まとまりの状態を表していると解釈できる。

従って、以上をまとめると、限定選択構文では、採るべき動作行為を提示する文では、選択項が一般に対立的事態で構成され、一方、恒常的な状態を表す文では、選択項がしばしば同類の事態で構成され、構造全体である一まとまりの状態を表すといえる。

4.3. “不是 A 就是 B”のマイナス性

“不是 A 就是 B”の典型的な用法である恒常的な状態を表す例を観察すると、更に次のように、構造全体で望ましくない、即ちマイナスの状況が描かれている文が多く見られる。

- (39) 为着这件事，牛奶奶白天愁眉不展，食量大减，晚上常做凶梦，梦醒了，不是唉声叹气，就是哭泣。(CCL)

(夜は常に悪夢を見て起こされ、嘆息するか、めそめそと泣くかである。)

- (40) 婚后，发现丈夫酗酒成癖，有酒就喝，喝了就醉，醉了就要酒疯，不是打老婆就是砸家具，小李无法忍受皮肉之苦，只得离婚。(CCL)
(結婚後、夫が酒癖が悪いことが分かり、酒があれば飲み、飲めば酔い、酔えば酒乱になり、妻を殴るか家具を壊すかで、李さんは肉体的な苦しみに耐えきれず、離婚するほかなかった。)

(39) の二つの選択項「嘆息する」と「めそめそと泣く」は、どちらも“牛奶奶”（牛婆さん）が悲しんでいる状況を表し、構造全体がマイナスの事態として描かれている。(40) の当該構造は、夫が酒乱になり暴れる状況を表し、妻が離婚せざるを得なかったというマイナスの事態として描かれている。

また、4.2 節で“不是 A 就是 B”の例として挙げた (32) (33) など、構造全体が、それぞれ「英国の天気が悪い状態」、「自然に触れる機会が少ない状態」というマイナスの事態として描かれている。また (36) の“不是你死就是我活”は、前述したように、構造全体で「生きるか死ぬか」という緊迫した事態を表し、全体で一種のマイナスの状態として描かれていると解釈できる。

“不是 A 就是 B”の恒常的な状態を表す例の中で、マイナスの事態が描かれている例は、196 例中 147 例（約 75%）観察された。一方、“要么 A 要么 B”については、恒常的な状態を表す文 139 例中、マイナスの事態が描かれている文は 76 例（約 54.7%）であった。なお、採るべき動作行為を表す文については、“要么 A 要么 B”については、マイナスの事態が描かれている文が 57 例中 20 例（約 35.1%）、“要不 A 要不 B”については 20 例中わずか 3 例（15%）であった。従って、限定選択構文の中で、特に“不是 A 就是 B”の文でマイナスの事態が描かれる例が際立って多い。

“不是 A 就是 B”は、構造的に判断動詞“是”を含み、一般に構造全体である一まとまりの恒常的な状態を描写するために用いられる。ある一まとまりの状態の中で起きている事態が、「二つの事態ばかりである」と限定して述べられるということは、しばしば望ましくないマイナスの事態を表すことに傾くのではないかと推測されるが、この点については今後考察を深めたい。

5. まとめ

本稿では、“要不 A 要不 B”、“要么 A 要么 B”、“不是 A 就是 B”という三つの限定選択構文を取り上げて、それらが表す事態のタイプや典型的用法、更に表現機能について考察した。これらの構文はいずれも意味的に「A か B のどちらかだ」を表すが、表し得る事態のタイプに相違がある。“要不 A 要不 B”と“要么 A 要么 B”は典型的には、採るべき動作行為の選択肢を提示するために用いられ、その用法の文では一般に選択項が対立的事態の二者択一として示される。一方、“不是 A 就是 B”は典型的には恒常的動作や属性などの恒常的な状態が二つの選択項のうちいずれかであることを示すために用いられ、選択項にはしばしば同類の事態が置かれ、構造全体で一まとまりの状態——その多くがマイナスの状態——を表す。

注

- 1) 邢福义 2001:242-265 は、邢福义 1987 を加筆したもので、本稿では邢福义 2001 を参照した。
- 2) 邢福义 2001 では、“要不 A 要不 B”を“限定句式”とは明確には述べていないが、“要么 A 要么 B”や“不是 A 就是 B”との相違を論じており、“要不 A 要不 B”も「A か B のどちらかだ」を表す形式であることから、限定選択構文の一つと見なすことができる。
- 3) 本稿では、CCL と BCC を調査対象コーパスとし、それぞれの“报刊”と“文学”から用例を収集した。“要么 A 要么 B”と“不是 A 就是 B”については、用例数が多いため、無作為に 200 例ずつ抽出して考察を行った。
- 4) 邢福义 2001:262 を参照した。
- 5) インフォーマント調査では、(25) は“要不 A 要不 B”ではなく“要么 A 要么 B”を用いた方が自然であると判断する者がいた。
- 6) 選択を表す接続詞“要么”は本来、疑問文末に置かれていた“要么”（…を得たいか）が語彙化して生まれた語であるという説がある（周有斌 2011:32-33）。もし“要么”がこのように聞き手などに「…を得たいか否か」という選択を求め

る疑問文から生まれた語であるならば、“要么 A 要么 B”は聞き手などに「A を採るか B を採るか」という採るべき選択肢を提示するという用法が、通時的にも典型的であると推測される。

- 7) “不是 A 就是 B”の選択項に同類の事態が置かれるということは王弘宇 1996 すでに論じられている。王弘宇 1996:64-65 は当該構造の選択項には意味的な“一致性”(一致性)があるとしている。
- 8) 複文の等位接続構造に非対称性 (asymmetry) が認められることは、寺村 1992:349-359 や Langacker 2008:406-412 を参照した。

参考文献

- 寺村秀夫 1992. 『寺村秀夫論文集 I ——日本語文法編——』。東京：くろしお出版。
- 王弘宇 1996. 「细说“不是 A, 就是 B”格式」, 『世界汉语教学』1996 年第 4 期 :64-68 页。
- 邢福义 1987. 「现代汉语的“要么 P, 要么 Q”句式」, 『世界汉语教学』1987 年第 2 期 :13-18 页。
2001. 『汉语复句研究』。北京：商务印书馆。
- 周有斌 2011. 「谈谈“要么”的语法化」, 『阜阳师范学院学报(社会科学版)』2011 年第 6 期 :30-34 页。
- Langacker, Ronald W. 2008. *Cognitive Grammar: a basic introduction*. Oxford : Oxford University Press.

用例出典

- 《CCL 现代汉语语料库》北京大学中国语言学研究中心
http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp?dir=xiandai
- 《BCC 语料库》北京语言大学大数据与语言教育研究所
<http://bcc.blcu.edu.cn/>
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室编 2016. 『现代汉语词典(第 7 版)』。北京：商务印书馆。
- 吕叔湘主编 1999. 『现代汉语八百词(增订本)』。北京：商务印书馆。

【付記】 島津先生には、研究面だけでなく、大学の校務やプライベートでもたくさんのご指導を頂きました。心からご冥福をお祈り致します。